

小学校で平成32年度から必修化されるプログラミング教育を適切に推進し、児童に「プログラミング的思考」を育成する。



次期学習指導要領における重要な変更点
平成31年度が最後の準備期間

小学校におけるプログラミング教育のねらい

- ①「プログラミング的思考」を育むこと
- ②プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと
- ③各教科等での学びをより確実なものとする

プログラミング教育の手引(文部科学省) より



東京都杉並区 毎日新聞より

- ◆教材
具体物
児童用タブレット
カリキュラム策定(総合的な学習の時間で実施予定)
- ◆研修
すべての小学校で円滑に「プログラミング教育」が実施できるように適切な研修を実施



他の自治体

- ・相模原市では、全市的にH30に環境性を行い、取り組みを開始している。
- ・大阪市では平成29年度からプログラミング教育の推進に当たり協力事業者を募集し、推進している。
- ・多くの自治体はH31整備を予定している。

H31 教材 168,190 千円(5年リース現年6ヶ月)
研修 15,377 千円(2年間継続・1年分)